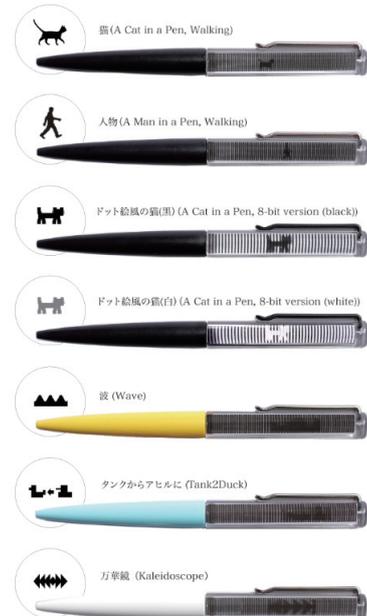


傾けると小さな物語が始まる目の錯覚を利用したアニメーションペン  
 ~ 「Animation Floating Pen」 を7月に一般販売開始しました。 ~

# Animation Floating Pen

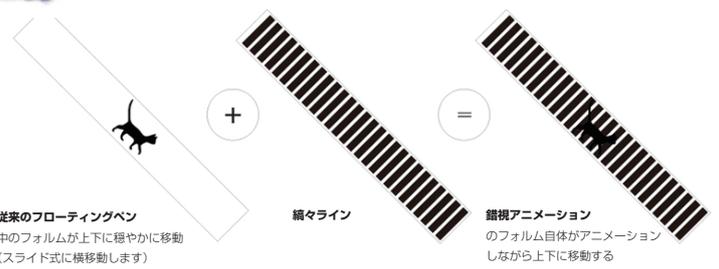
アニメーション  
フローティングペン



上記よりアニメーションを見ることができます。



◆フローティングペンとは？  
 誰もがどこかで見たことがある、液体が封入されていて、傾けるとその中を小さなカードに描かれた絵が静かに移動するペンです。その移動距離、わずか4センチメートルたらず、カード端から端までいくのにかかる時間は6秒ほどです。このフローティングペンは、世界各国で売られていて、それぞれで当地のお土産グッズになっています。ベルリンなら、街の風景の中をシンボルである熊が移動するペン、プラハなら、やはり街を象徴するトラムが古い街なみのなかを走るペン、といった具合です。



アニメーションフローティングペンは従来のフローティングペンに錯視（目の錯覚）のアニメ効果を付け加えたペンです。

錯視は3種類

**A** TYPE A  
Barrier Grid Animation  
バリアグリッドアニメーション

**B** TYPE B  
Foot Step Illusion  
フットステップイリュージョン

**C** TYPE C  
Barrier Grid Animation  
バリアグリッドアニメーションの新しい味

A Cat in a Pen, Walking では、かわいいネコが、A Man in a Pen, Walking では人がペンの中で歩いてるように見えます。原理は、「錯視アニメーションの歴史」で触れたシマシマの裏側に特殊な画像をスライドさせることで生じる「バリアグリッドアニメーション」というしくみが使われています。特殊な画像とは、たとえばネコが歩いている6コマのアニメーション図形を縦に細かく切り刻んで、シマシマの幅にあわせて隙間から順番に見えるようにしたものです。

A Cat in a Pen, 8-bit version(b) と A Cat in a Pen, 8-bit version(w) は、Type Aと同じくシマシマを使いますが、全く異なる「フットステップイリュージョン」と呼ばれている錯視を利用しています。ペンの中を移動するネコのイラストは足や頭の形がシマシマの幅にあわせて調整されています。この錯視は人間の目がコントラストによって引きずられて見える（黒い線から少し黒い部分がはみだしても見えませんが、ある程度飛び出してとく認識される）という性質を利用しています。

6コマに切り分けられたアニメーションがコマずつ表示されています。

動いている黒い長方形は上下の四角を結び直線も含めて一定速度で動いているのですが、シマシマの領域と重なることでバタバタとリズムを刻む様な錯視が発生します。

人間の目がコントラストによって引きずられて見えるという性質を利用しています。

◆Animation Floating Pen 制作チーム  
 遠藤諭とさとうたくの2人を中心としてその協力者たちからなるアニメーションフローティングペンの製作を目的としたチームです



◆製品仕様  
 ペン軸は、Type A, B がマットブラック、Type C はカラー軸。クリップは、Type A, C がメタリック、Type B はマットブラックです。油性ボールペンで 黒インク、ボール径 0.8mm です。  
 ・材質本体：ABS 樹脂、クロム鋼、ミネラルオイル | ・外装：PET | ・インク色・太さ：黒・0.8 mm | ・安全性ペン本体：欧州玩具規格 EN71 part3 取得 | ・内包オイル：米国 FDA 取得 | ・対象年齢：12 歳以上 | ・製造：デンマーク エスケセン社 | ・重量：13.9g

◆Floating Pen の歴史  
 「フローティング・ペン」は 1946 年にデンマークのエスケセン社で生まれたものだそうです。エスケセン社は 1946 年 デンマークの首都 コペンハーゲンから 1 時間程 車で西に向かったストアメルローズという田舎町で誕生しました。

◆錯視アニメーションの歴史  
 1890 年代後半に始まる目の錯覚を利用した昔からある遊びです。コマに分けたイラストの上にシマ模様シートを重ねて動かすとイラストが動いて見えます。

◆利用シーン (猫好きな妻へのギフト、ウォーキング好きな自分へのご褒美、うみが好きな彼へのプレゼント、ゲームっぽい不思議なものが好きな友人へ)

◆フローティングペンで由緒あるデンマークの ESKESEN クオリティ

